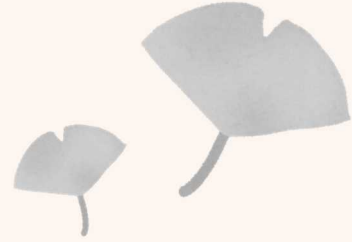


ふるさとのうた

剣淵文化協会俳句部



虫の音や遠く近くに終夜よもすがら

西町 金澤頼子

夜々の月老いゆく日々のその先へ

元町 印牧安子

中秋の名月愛でる至福とき

仲町 坂部和子

干し物に湿り残して秋涼し

元町 西崎弘子

山一つ揺らし紅葉を散らす風

仲町 梅基文子

ここちよき淋しさもあり秋時雨

西原町 児玉久美子

雪螢会へて明日なき日の帳とぼり

仲町 玉野研一

鬼灯の色づき始むかの日にも

旭町 大河博子

霧襖身の振りかたのあれこれと

緑町 池田良子

名月にふと行き逢いて窓を開け

西町 岸波君江

母の味真似て濃いめのカボチャ煮る

西町 杉浦とし枝

秋の嶺ロープウェイからはしゃぐ声

藤本町 鈴木ゆき子

山染る三国峠のカメラマン

西岡町 高瀬久美子

炊き上げの湯気ほのぼのと栗おこわ

東町 高橋世津子

名月や病癒えゆる願うなり

西町 文梨清子

棲み古りし田舎ぐらしや遠花火

仲町 芳賀星子